

消化器内科・腫瘍内科に通院・入院中あるいはしていた患者さんへ  
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

S-1+イリノテカン+ベバシズマブ療法による高トリグリセリド血症のケースシリーズ研究

[研究機関名・長の氏名]

北海道大学病院 秋田 弘俊

[研究責任者名・所属]

菅原 満 (北海道大学大学院薬学研究院教授／北海道大学病院薬剤部長)

[研究の目的]

S-1+イリノテカン+ベバシズマブ療法は進行大腸がんの治療でよく用いられる治療法です。私たちは以前この治療で中性脂肪値が著しく上昇する患者さんを経験し、世界で初めて報告しました。その後、この症状が出現していないか定期的な検査を実施していたところ、さらに4例の患者さんで当症状が確認されました。中性脂肪値の著しい上昇は冠動脈疾患をはじめとした動脈硬化性疾患や急性膵炎を誘発することが知られており、重症化した場合は命にかかわります。しかしながら、出現した患者さんにいつ症状が出現したのか、合併症や併用薬などの症状についての情報は非常に限られており、それらを明らかにすることは当治療の安全な実施に必須です。

本研究は4例の患者さんの治療経過をまとめることにより、この症状の特徴の一端を見出すことを目的として実施します。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2019年9月から2021年1月の間に当院消化器内科あるいは腫瘍内科でS-1+イリノテカン+ベバシズマブの治療を受けた方。

○利用するカルテ情報

治療時の患者さんの身長、体重、体表面積、がんの病期、治療歴、合併症、併用薬、血液検査のデータ、S-1、イリノテカン、ベバシズマブの投与量など

[研究実施期間] 実施許可日～2021年12月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院薬剤部 担当 齋藤 佳敬

電話 011-706-5683 FAX 011-706-7616